

## 北九州市の特別支援教育に関する調査（保護者向け）

### 結果まとめ

**調査の目的：** 障害のある子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実を検討する上での参考とするため、保護者を対象とした調査を行い、その結果を踏まえて今後の特別支援教育の在り方を検討するもの。

**調査対象：** 北九州市立特別支援学校、小・中学校の特別支援学級及び通級指導教室に在籍する子どもの保護者 2,954人\*  
（\*対象者数は平成27年5月1日時点の在籍者数ベース）

**調査期間：** 平成27年10月6日～平成27年10月20日

**調査項目：** 10項目

**実施方法：** 学校を通じて調査票を配付

**有効回収率：** 73.6%（有効回収数2,173／対象者数2,954）

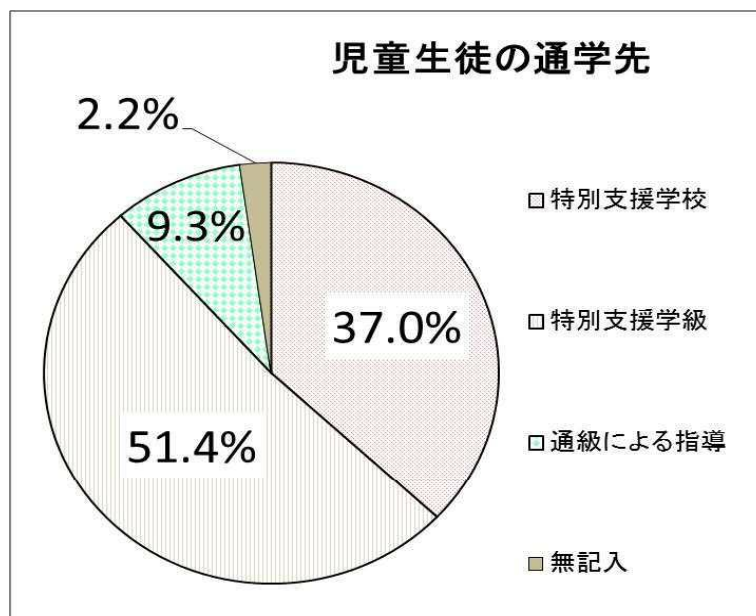
**調査担当課：** 北九州市教育委員会特別支援教育課（582-2367）

※ 本調査の集計作業は、北九州市保健福祉局「障害者ワークステーション北九州」の皆様に協力いただきました。

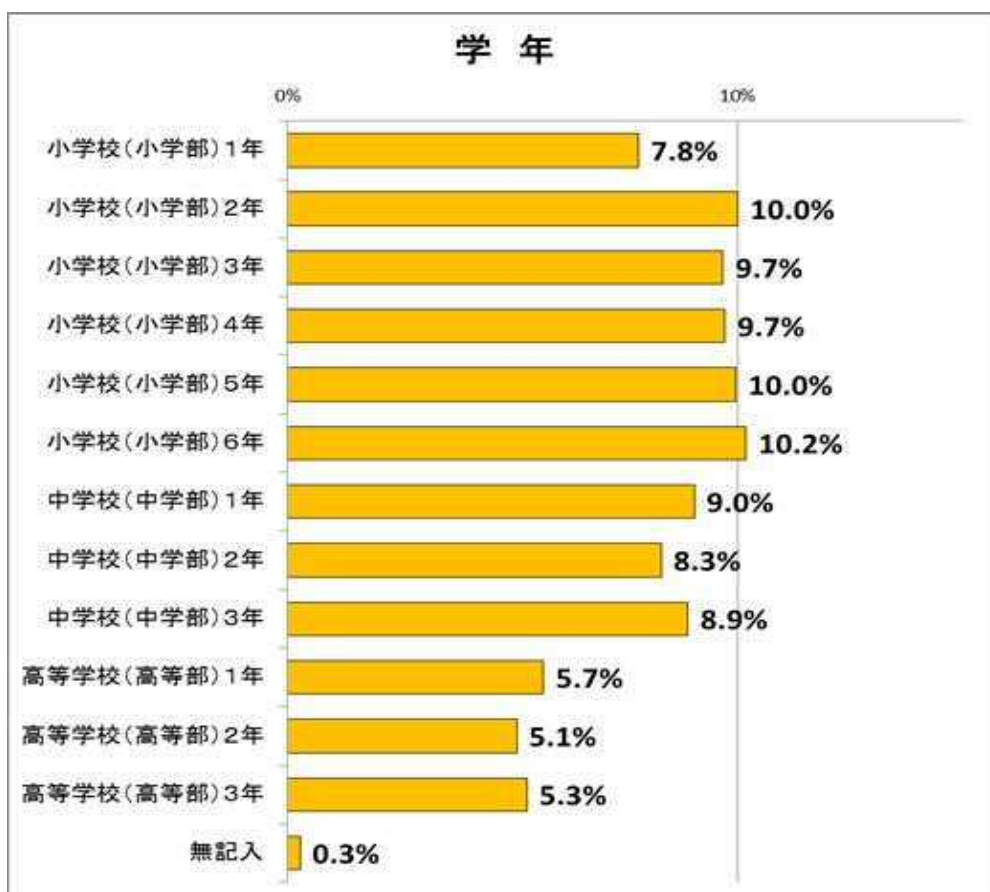
## 調査結果一覧

### 1. 児童生徒の基本情報

#### (1) 通学先 ※回答数 2,174 件（複数回答あり・無記入含む）



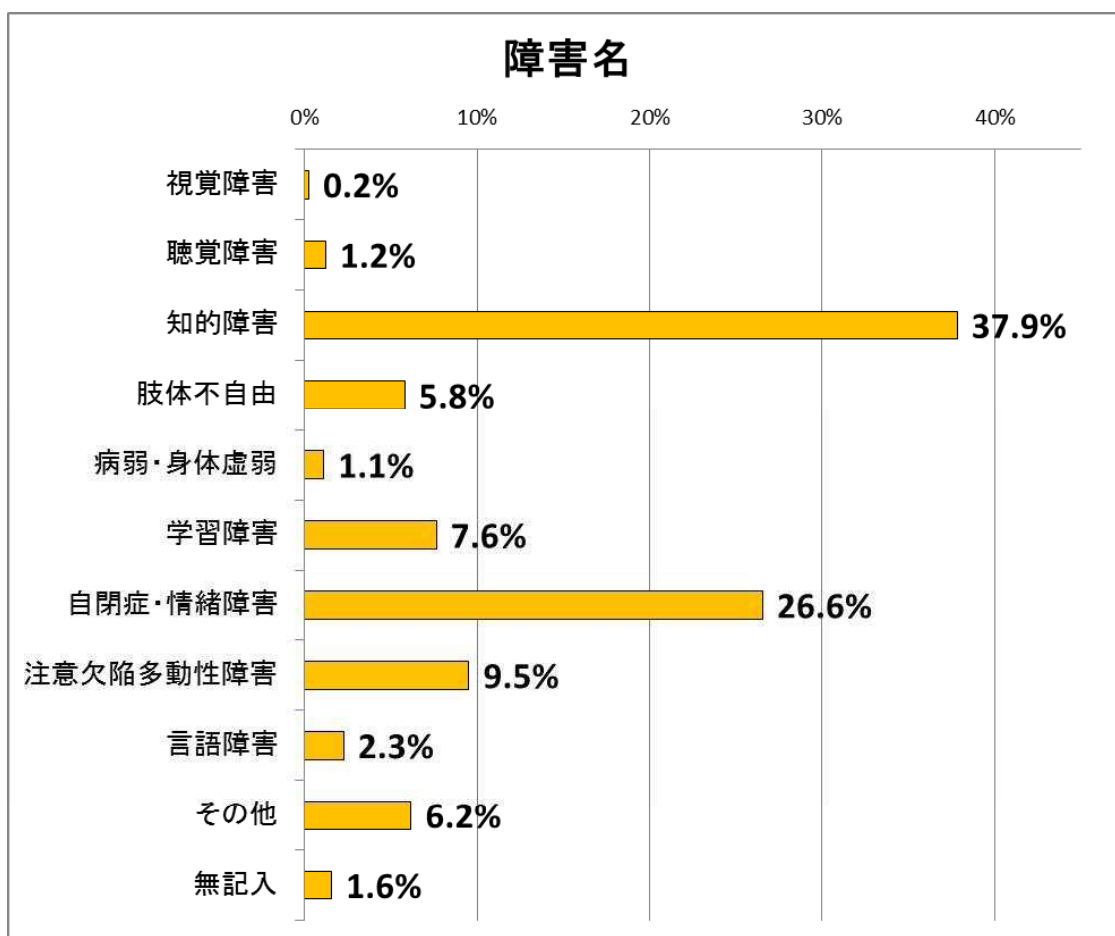
#### (2) 学年 ※回答数 2,179 件（複数回答あり・無記入含む）



### (3) 障害名

※回答数 2,866 件（複数回答あり・無記入含む）

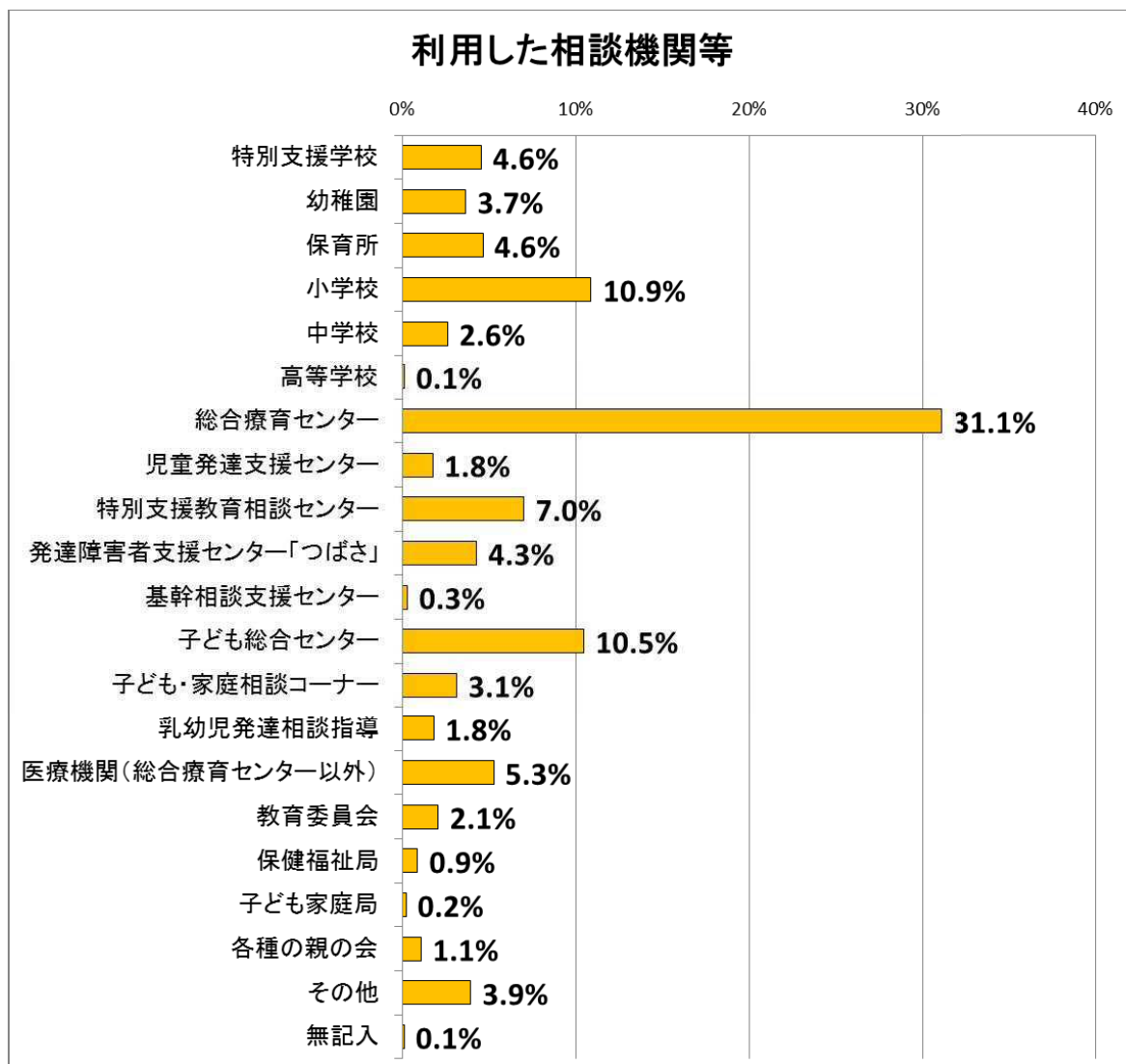
※障害名は必ずしも「診断名」を示すわけではない。



「その他」のうち、「正式な診断はなされていない」との回答が約10%、障害名の記載がないものが約20%、また「発達障害」に関連する記載が約40%を占めていた。

## 2. お子さんへの教育的支援を考えた際に利用した相談機関等

※回答数 4,612 件（複数回答あり・無記入含む）



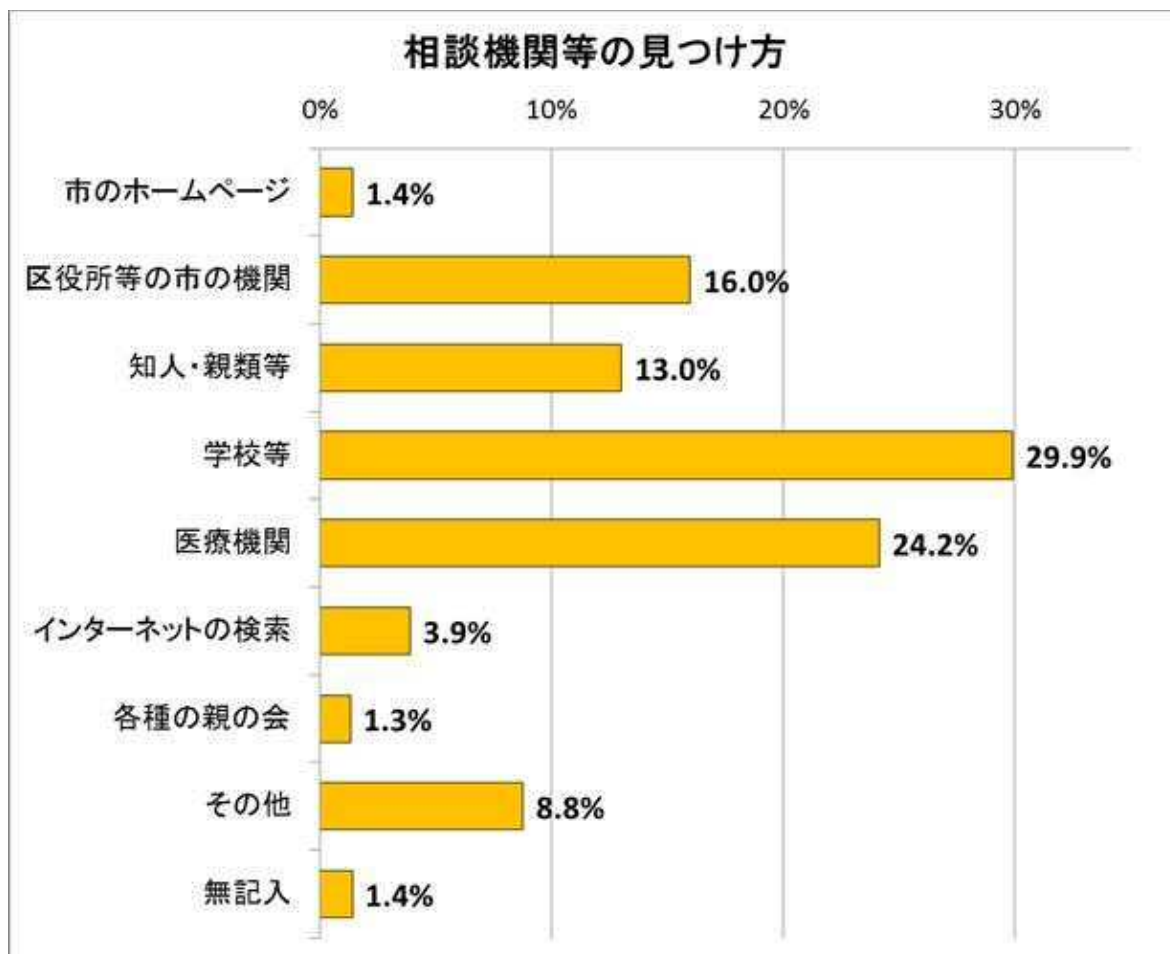
保護者が利用した相談機関等で一番多かったのは小倉南区にある北九州市立総合療育センターで、他の相談機関よりも突出しており、回答した保護者の半数以上に利用経験があった（相談機関の全体では約3割を占める）。

次いで多いのが小学校と子ども総合センターで、回答した保護者の約4分の1が利用していた（相談機関の全体ではそれぞれ約1割を占める）。

また、「その他」のうち、通園・通所施設に相談したとの回答が約30%、療育機関や小児科への相談が約20%、公的機関等での相談が約10%、学校や保育所等への相談が約10%であった。

### 3. 設問2. で回答した相談機関等の見つけ方

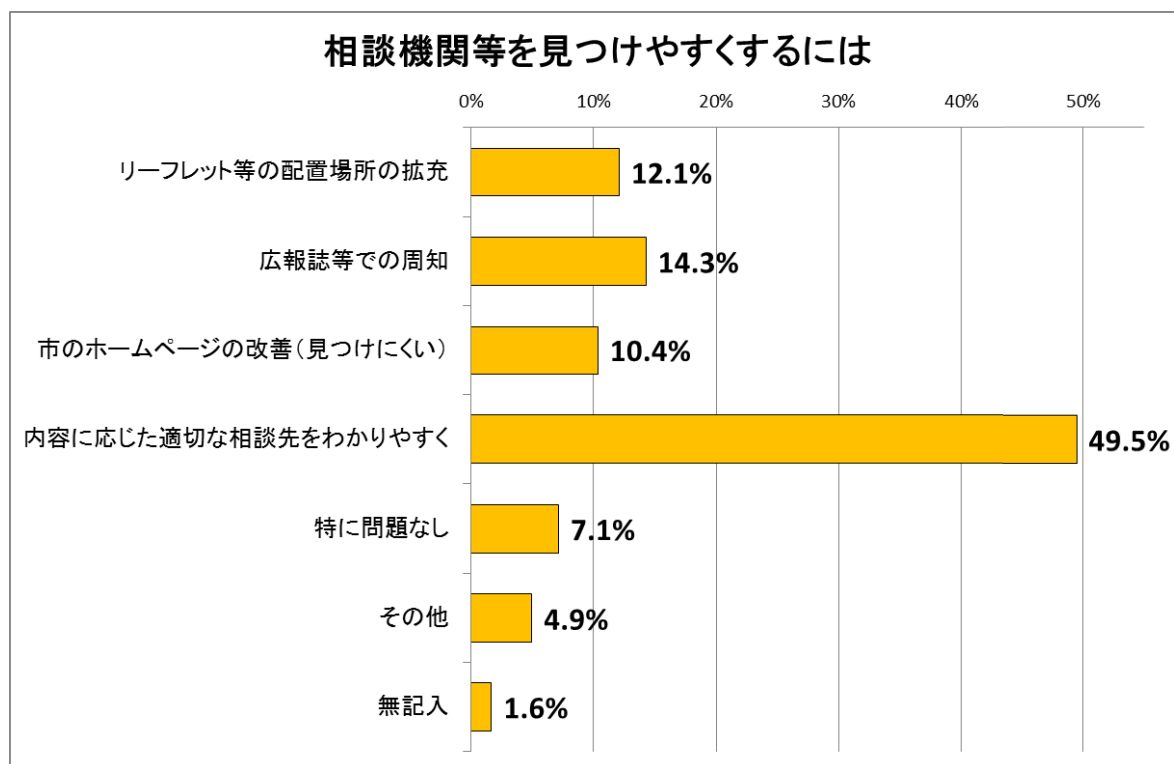
※回答数 2,832 件（複数回答あり・無記入含む）



「その他」の回答のうち、利用していた幼稚園や保育所からの紹介が約30%、通所／通園施設等からの紹介が約15%、医療機関からの紹介が約10%、子育て相談・健診等での紹介が約10%であった。

#### 4. 相談機関等を見つけやすくするために必要な工夫

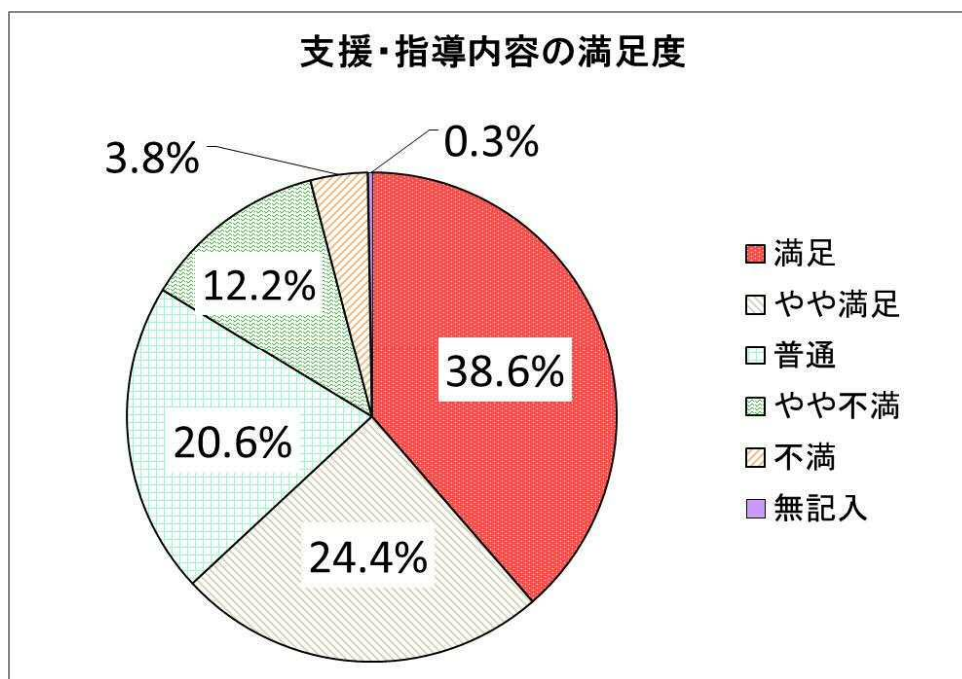
※回答数 3,162 件（複数回答あり・無記入含む）



「その他」の回答のうち、学校や保育所などの教育関係者の相談に係る知識の向上や教育機関等での周知の徹底を求めるものが約30%を占めており、周知方法の改善（リーフレットの設置場所等の工夫、マスメディアの活用など）も約20%を占めていた。また、「どこに、何を相談すればいいのかわかりやすくしてほしい」等の回答が約17%、医療機関からの周知の充実や医療機関との協力体制の強化については約14%であった。

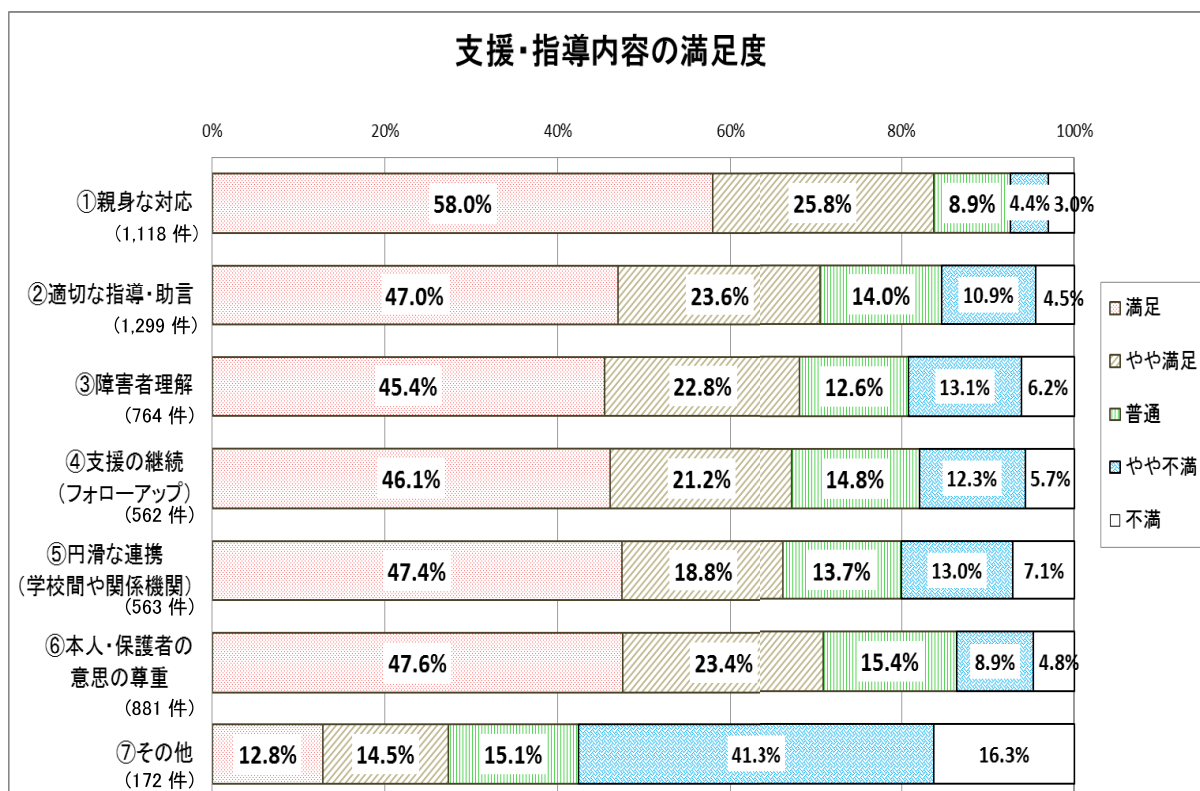
## 5. 通学先での支援・指導内容に関する満足度

※回答数 2,180 件（複数回答あり・無記入含む）



## 6. 設問5. の回答理由

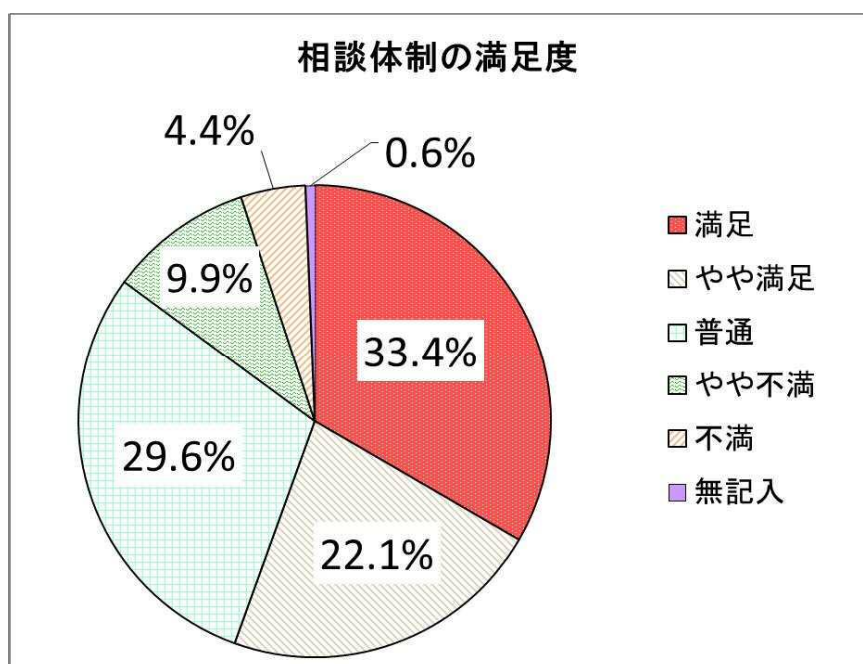
※回答数 5,359 件（設問5. の満足度及び理由の無記入除く・複数回答あり）



「その他」としては、個に応じた一貫した指導・支援の一層の充実、十分な人員の確保、教職員や学校間での「対応差」の改善、教職員の障害者理解の促進等を求めるものがあった。

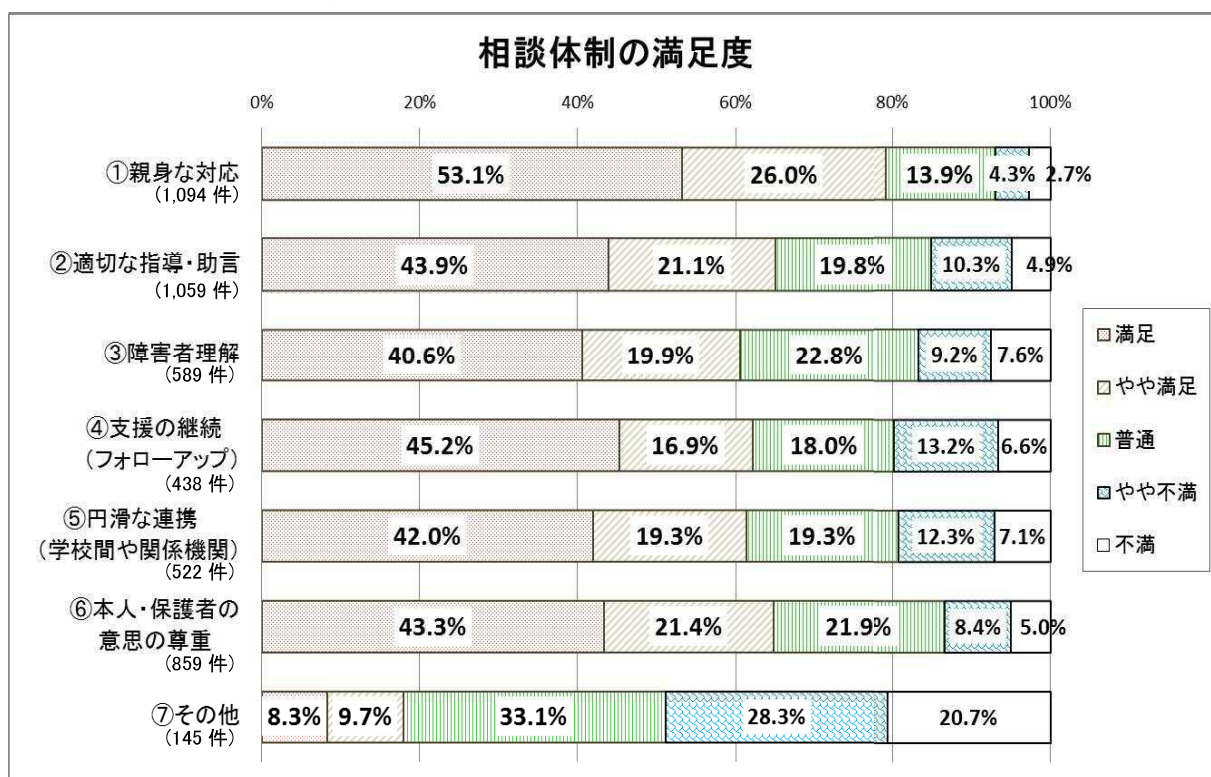
## 7. 通学先での相談体制に関する満足度

※回答数 2,178 件（複数回答あり・無記入含む）



## 8. 設問7. の回答理由

※回答数 4,706 件（設問7. の満足度及び理由の無記入除く・複数回答あり）



「その他」としては、設問6. と同様の回答（個に応じた一貫した指導・支援の一層の充実、十分な人員の確保、教職員や学校間での「対応差」の改善、教職員の障害者理解の促進等）に加えて、「何となく相談しにくい」など、雰囲気改善を求めるものもあった。